



7月のほけんだより

6月11日に行われた全園児歯科健診の結果 ドキドキしながらみんながんばりました！

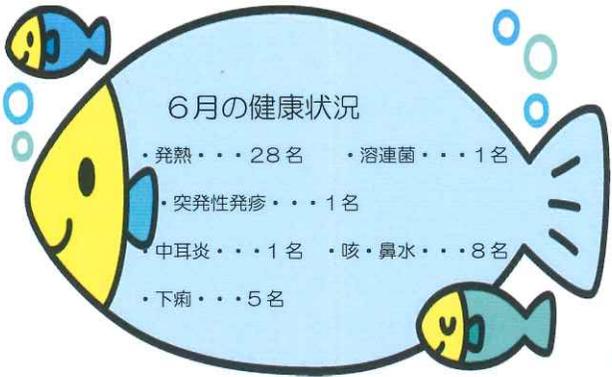
	ひよこ組	あひる組	ペンギん組	ねこ組	とら組	らいおん組
受診者数	9名	20名	24名	23名	23名	25名
所見なし	9名	18名	21名	23名	18名	17名
虫歯あり	0名	0名	1名	1名	8名	6名
歯石あり	0名	0名	0名	0名	1名	0名
その他（形成不全、癒着歯、反対咬合など）	0名	2名	2名	2名	1名	3名

歯科園医の渡辺先生から、城山保育園南山のおともだちは虫歯が少ないですね！とコメントを頂きました。
3歳児くらいから虫歯が増え始めます。1日1回は頑張って歯磨きをしましょう。フッ素塗布を歯科で行う時期は奥歯が生え揃うころがいいです。これを利用して、こまめに定期健診を受けましょう。



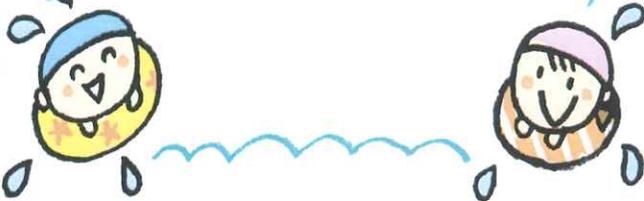
- ### プール前チェック
- 爪は伸びていませんか？
 - 皮膚に異常はありませんか？
 - 熱はありませんか（前日まで熱はなかったですか？）
 - 耳そうじはしましたか？
 - 鼻水や咳は出ていませんか？
 - 目やにや充血はありませんか？
 - 食事や睡眠はとれていますか？

朝食は必ず食べて来てください。
*手足の爪が伸びていないか、剥がれかけていないかこまめにご確認ください。



6月の健康状況

- ・発熱・・・28名
- ・溶連菌・・・1名
- ・突発性発疹・・・1名
- ・中耳炎・・・1名
- ・咳・鼻水・・・8名
- ・下痢・・・5名



食中毒に注意しましょう！

食中毒は、細菌やウイルスが付着した物を口にすることが原因で、湿度の高い夏場に多く発症します。吐き気や下痢をもよおし、熱が出ることもあります。血便やひどい、腹痛があったり、嘔吐を繰り返す場合は、すぐに病院へ行きましょう。

三 大 夏 風 邪 の原因と特徴

「夏風邪」とは、文字どおり夏にひく風邪のこと。主な原因はウイルス感染によるものですが、冬の風邪の主な原因が乾燥や寒さに強いウイルスなのに対し、夏風邪は高温多湿の環境を好み、夏に活発化するウイルスによって発症します。これらのウイルスが引き起こす感染症には、症状によってさまざまな病名がつけられています。それが、三大夏風邪ともいわれる「手足口病」「ヘルパンギーナ」「プール熱」です。

手足口病

38度程度の熱が数日続くことも。高熱になることは少ない。

口の中や喉の痛み

手や足、口腔内、臀部などに水疱性の発疹

主な原因ウイルス	感染経路	潜伏期間	登園・登校
コクサッキーウイルスA16型、A5型 エンテロウイルス71型	飛沫感染 接触感染 経口感染	3～6日	全身状態が良ければ可

「手足口病」は、口の中や手足に水ぶくれのような発疹が出るのが特徴で、4歳くらいまでの乳幼児を中心に流行します。手足や口だけでなく、お尻や膝の周り、顔に発疹があらわれる子も。また年によって流行する型が変わったり、複数の型が同時期に流行したりする場合もあるため、ひと夏に2回発症する子もいます。

ヘルパンギーナ

突然高熱が出る事が多い。38～39度の熱が1～3日続く。

喉の痛み

口腔内に水疱性の発疹や潰瘍

主な原因ウイルス	感染経路	潜伏期間	登園・登校
コクサッキーウイルスA群	飛沫感染 接触感染 経口感染	2～4日	全身状態が良ければ可

「ヘルパンギーナ」は5歳以下の子どもが感染することがもっとも多いといわれています。突然の高熱に続いて喉や口の中に水ぶくれのような発疹ができ、数日経つと水疱がつぶれて潰瘍になり、痛みを伴います。高熱に加え、食べられない、飲めない、不機嫌になるといったことから、発症に気づくことが多い感染症です。

プール熱（咽頭結膜熱）

39～40度の高熱が、4～5日続く。

頭痛

喉の痛み

腹痛
下痢

目の充血や目やに、涙目、まぶしいなどの結膜炎症状

主な原因ウイルス	感染経路	潜伏期間	登園・登校
アデノウイルス	飛沫感染 接触感染 経口感染	5～7日	出席停止 (主要症状が消失した後2日を経過するまで)

「プール熱」は、かつてプールの水を介して感染が流行したことからこう呼ばれていましたが、最近の施設はしっかりと水質が管理されているため、プール水を介した感染はほとんどみられません。プール以外の場所でも感染し、正式名称は「咽頭結膜熱」といいます。症状は高熱と咽頭炎、結膜炎が特徴で、活動的になる幼児期から学童期の子どもに多く発症します。「咽頭結膜熱」は、学校保健安全法で指定された学校感染症第2種に属し、主な症状が消え2日経過してからの登園となります。